

第 355 回研究報告会 (1 月 27 日)

「碑」の字表記問題再考—『天理教教典』を事例に—

八木 三郎

『グローバル天理』で連載している標記テーマの一環として、『天理教教典』を事例に障害に関する表記について発表した。「おふでさき」「みかぐらうた」「おさしづ」に基づき、1949 年に復元教典として発行された『天理教教典』は、1994 年に 35 年ぶりに改訂版が出されている。その主な改訂部分が「因果応報的」な障害観に関する表記である。

その改訂にあたって、当時、天理教教義及史料集成部主任・上田嘉成本部員は「身障者に対する言葉使いが、暖い思いやりを以て磨かれたことも、嬉しいことの一つです。」と述べ、さらに「教義は人生を明るくするためにあるのです。しかし、従来は、いんねんと言えば、怖い恐ろしいものと思っていた人も無かったとは言えません。(略) 教祖からお教えて頂いた明かるとい御教えを、明るく取り次がせて頂く時代が来たのです。」と改訂の趣旨を明かされている。今回の発表では改訂された第 7 章と第 10 章の「いんねん」の部分に焦点をあてた。

信条教育に関する研究会を実施 (2 月 16 日)

澤井 真

「信条教育の展望—過去・現在・未来」と題した信条教育に関する研究会を開催した。2022 年度第 2 回宗教研究会、ならびに「天理出身教員の『持ち前』の核心—教育人間学的アプローチによる教員養成への実現—」(天理大学学術・研究・教育活動助成) の研究成果報告会を兼ねて開催したものである。

まず竹森博志天理高等学校長が、「天理高等学校における信条教育について」と題して、天理高等学校が取り組む信条教育を紹介した。普通授業内で教えられている天理教教義の授業に加えて、特別活動であるひのきしん活動や特色ある寮生活が行われている。さらに、定刻参拝時には、生徒への「おさづけ」の取り次ぎも行われている。また教職員研修の一環として、教職員月次祭まなびを行い、教職員側の研鑽にも取り組んでいることが報告された。

さらに、澤井真が「信条教育の成立と展開—天理教の宗教教

育—」と題して、天理教における宗教教育の展開を、天理教校開校から教祖 70 年祭までを中心に発表した。天理教の宗教教育は教育行政に呼応して進められてきたが、その根幹には教内信者子弟子女に対する「縦の布教」があることを指摘した。

信条教育とは単に教理や知識を伝えるものではなく、信仰的・精神的涵養を伴う人格的教育である。教育に携わる側である学校法人天理大学の全教職員が、自覚的にさらなる信仰的研鑽を積むことが不可欠であることは言うまでもない。

## 2022 年度おやさと研究所 特別講座「教学と現代」

### 「元の理」を描く —生命・ジェンダー・芸術—

2022 年度の特別講座「教学と現代」は、天理人間学研究室と天理ジェンダー研究室との共催により、『「元の理」を描く—生命・ジェンダー・芸術—」をテーマに開催いたします。

講師に、2022 年 9 月に南右 2 棟で「元の理」を題材にした日本画の個展「いのちのいさい」展を開催された日本画家の村田和香氏をお招きして、「元の理」の芸術世界について講演をいただきます。

【演題】「元の理」を描く

—生命・ジェンダー・芸術—

【講師】村田和香 (日本画家、グループ「台」会員)

【コメンテータ】金子珠理 (同志社大学嘱託講師)

【開催日時】2023 年 3 月 25 日 (土)

14:00 ~ 16:00

【会場】天理大学研究棟 3 階第 1 会議室

\*当日は、天理大学研究棟西口 (自動ドア) からお入りください。

グローバル天理

第 24 巻 第 4 号 (通巻 280 号)

2023 年 (令和 5 年) 4 月 1 日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion  
Tenri University

発行者 井上昭洋

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail [oyaken@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:oyaken@sta.tenri-u.ac.jp)

印刷 天理時報社

Printed in Japan